



藤倉豊明《デイリージャパン2018年6月号表紙原画》2018年 作家蔵



藤倉孝幸《岩内町・「岩内港」》1990年代 作家蔵

有島農場解放100年記念事業 夏の藤倉英幸展Part3

2022 7/23(土)日 ~ 10/2(日)日

9:00~17:00(最終入場16:30) 月曜休館(ただし祝日の場合は翌日休)

常設展観覧料のみで鑑賞可

一般500円(400円)/高校生100円/中学生以下と65歳以上のニセコ町民は無料

※()は10名以上の団体料金

ニセコ・有島記念館特別展示室

主催:ニセコ・有島記念館

●関連イベント

藤倉英幸講演会「3人の歩いた時代」

8月7日(日)10:30開始(1時間半程度)

予告 冬の藤倉英幸Part4(2022年11月より)

ニセコ・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel.0136-44-3245



藤倉豊明・英幸・孝幸兄弟3人展

3人の歩いた時代

みち

のちに「団塊の世代」といわれる時代を生きた3人。

少年期を小さな村で過ごし、長じて札幌でくしくも

広告デザインの世界で生きることになる3人。

昭和の高度経済成長期を経て平成になり、それぞれの

作品スタイルと仕事を確立した。今、ふりかえってみると、

それは「ひとつの時代」の一角を表現したことにならないだろうか。

3人の歩いた時代

藤倉豊明・英幸・孝幸兄弟3人展

1960年代、日本は高度経済成長時代を迎えた。その恩恵とは縁遠い北海道後志の炭鉱街・泊村に、のちに広告デザイン業界で活躍する3人の兄弟がいたー藤倉豊明、英幸、孝幸。

ちょうどその頃、大量消費社会を迎えた日本では、「デザイン」が新しい生き方、生活感、美意識をけん引しはじめる。まさに「デザイン」から世の中が伸びていく時代であったのである。

幼少期から絵を描くのが好きだった豊明と英幸は、「絵」で生活する術として、デザイン業界に職を得る。孝幸は地元で写真の腕を磨き始めたのであった。兄弟それぞれが10代で実際の仕事の現場に飛び込み、実践の中で鍛えられていった。やがて、3人がそれぞれの仕事で広告デザイン業界で大きく羽ばたくことになる。

本展では、イラストレーター・藤倉豊明、イラストレーター・藤倉英幸、写真家・藤倉孝幸の兄弟が手がけた印刷物や原画、写真作品を通して3人の代表的な仕事を紹介します。



藤倉豊明《デーリイジャパン2006年7月号表紙原画》2006年 作家蔵



藤倉英幸《たんぼ咲く頃ー田植え間近》2020年 ニセコ町役場蔵



藤倉孝幸《泊村・白別》1990年代 作家蔵

作家略歴

藤倉豊明

1946年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。幼少時代より絵に親しみ、高校卒業後は広告代理店に入社。そこで新聞広告やチラシなどのイラストレーション、デザインなどに広く携わる。75年、藤倉豊明デザイン事務所を設立。その写実的な作品は多くの企業ポスターを彩る。雑誌「デーリイジャパン」の表紙を30年間担当している。

藤倉英幸

1948年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。高校卒業後、印刷会社などを経て74年にイラストレーターとして独立し、商業デザインを幅広く手がける。80年代後半から北海道の風景や人々の生活に目を向けた「はり絵」作品を発表。92年からのJR北海道車内誌表紙絵制作は自身のライフワークとなっている。画集に『静かな風を聴きながら』(2013年・共同文化社)など。

藤倉孝幸

1950年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。北海道内や東京の広告代理店にて広告写真を学ぶ。82年、「コマースリアル・フォト・スタジオSTACK」を設立。ポスターや雑誌などの広告写真を多数手がける。写真集に『藤倉孝幸写真集 郷』(1991年・北海道電力)など。日本広告写真家協会会員。

●関連イベント

藤倉英幸講演会「3人の歩いた時代」

日時 | 2022年8月7日(日)10:30開始(1時間半程度)
場所 | 展示会場内(要観覧料)

●会期中のイベント

- 8月 6日(土) | シンセサイザーなどを用いた音楽ユニット・イノヤマランドによるライブ
- 8月21日(日) | 品川フィルハーモニー・アンサンブルによるコンサート
- 9月17日(土) | 俳優・本郷弦による有島武郎作品などの朗読会

※このほかにも各種事業を開催します。詳細は当館ホームページまたはお電話でご確認ください。

[交通アクセス] 自家用車 ー 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間
J R ー ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分
バ ス ー 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分
[駐 車 場] 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備

ニセコ・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel 0136-44-3245

